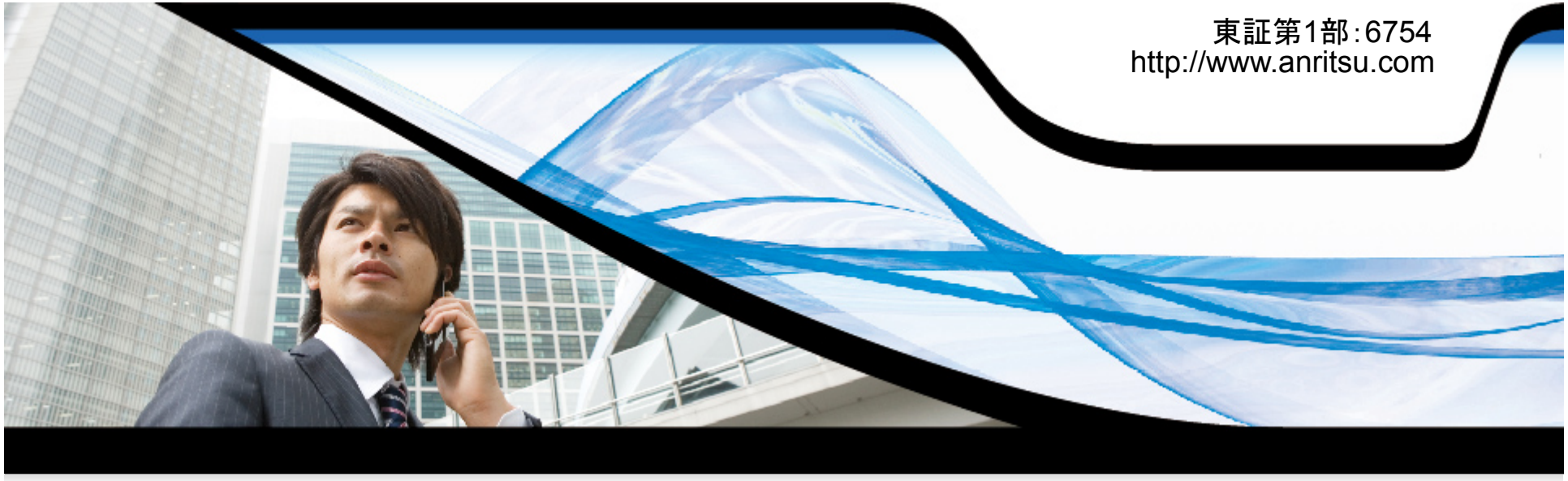
先進と信頼の
グローバル・マーケットリーダーを目指して

2012年 8月

アンリツ株式会社
代表取締役社長 兼 グループCEO
橋本　裕一

東証第1部：6754
http://www.anritsu.com



Copyright© ANRITSU

注　記

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

Copyright© ANRITSU

目　次

1. 事業概要

2. 2020 VISIONおよび3カ年計画

3. 計測事業の成長戦略

4. 国際会計基準と経営力強化

Appendix

Copyright© ANRITSU

1-1. 事業概要

2012年3月期 連結売上高：936 億円 (+20%)
連結営業利益：144 億円 (+106%)

計測事業

開発・製造・建設・保守用

- モバイル市場
- ネットワーク・インフラ市場
- エレクトロニクス市場

産業機械事業

- 食の安全・安心
- X線異物検出機

情報通信事業

- IPネットワーク システム

（セグメント別売上比率）

計測 75%			産業機械 15%	情報 4%	その他 6%
モバイル 45%	ネットワーク・インフラ 30%	エレクトロニクス 25%			

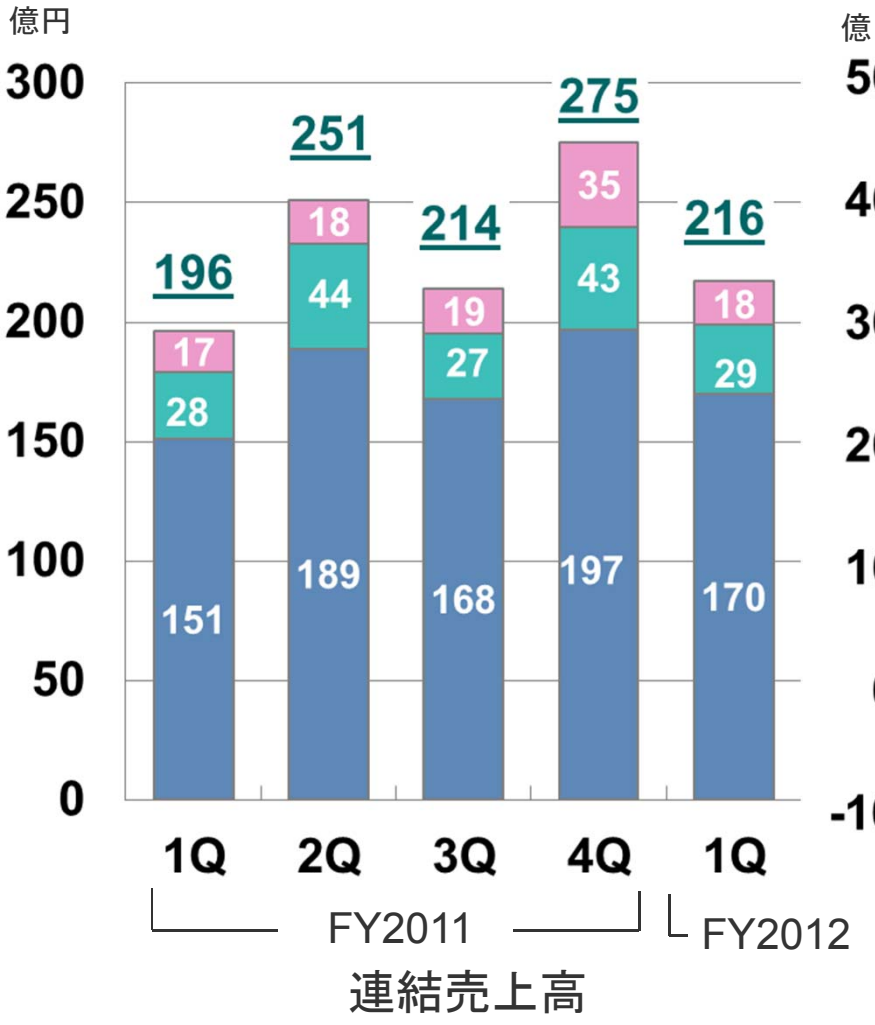
（計測事業 地域別売上比率）

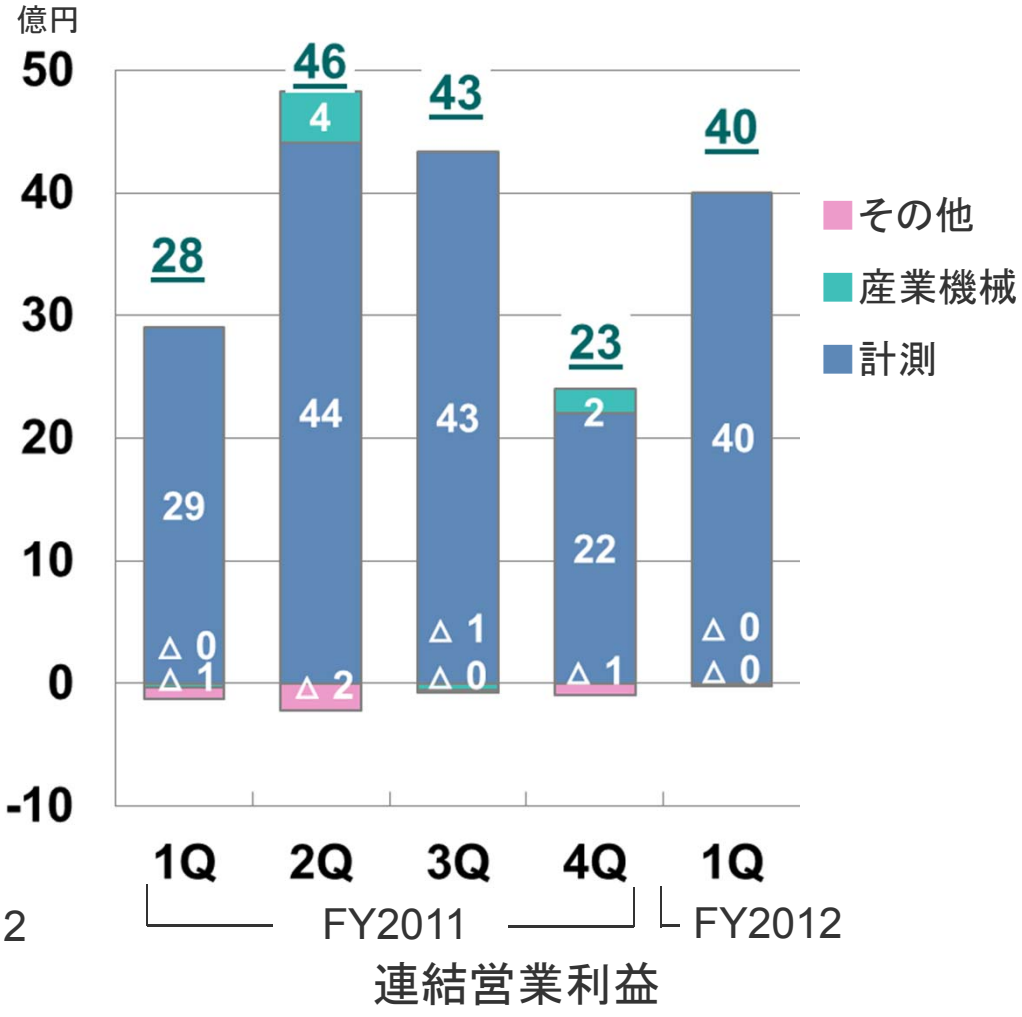
日本 30%	アジア他 30%	米州 25%	EMEA 15%

Copyright© ANRITSU

1-2. 四半期別売上高・営業損益

計測事業のモバイル関連ビジネスがけん引



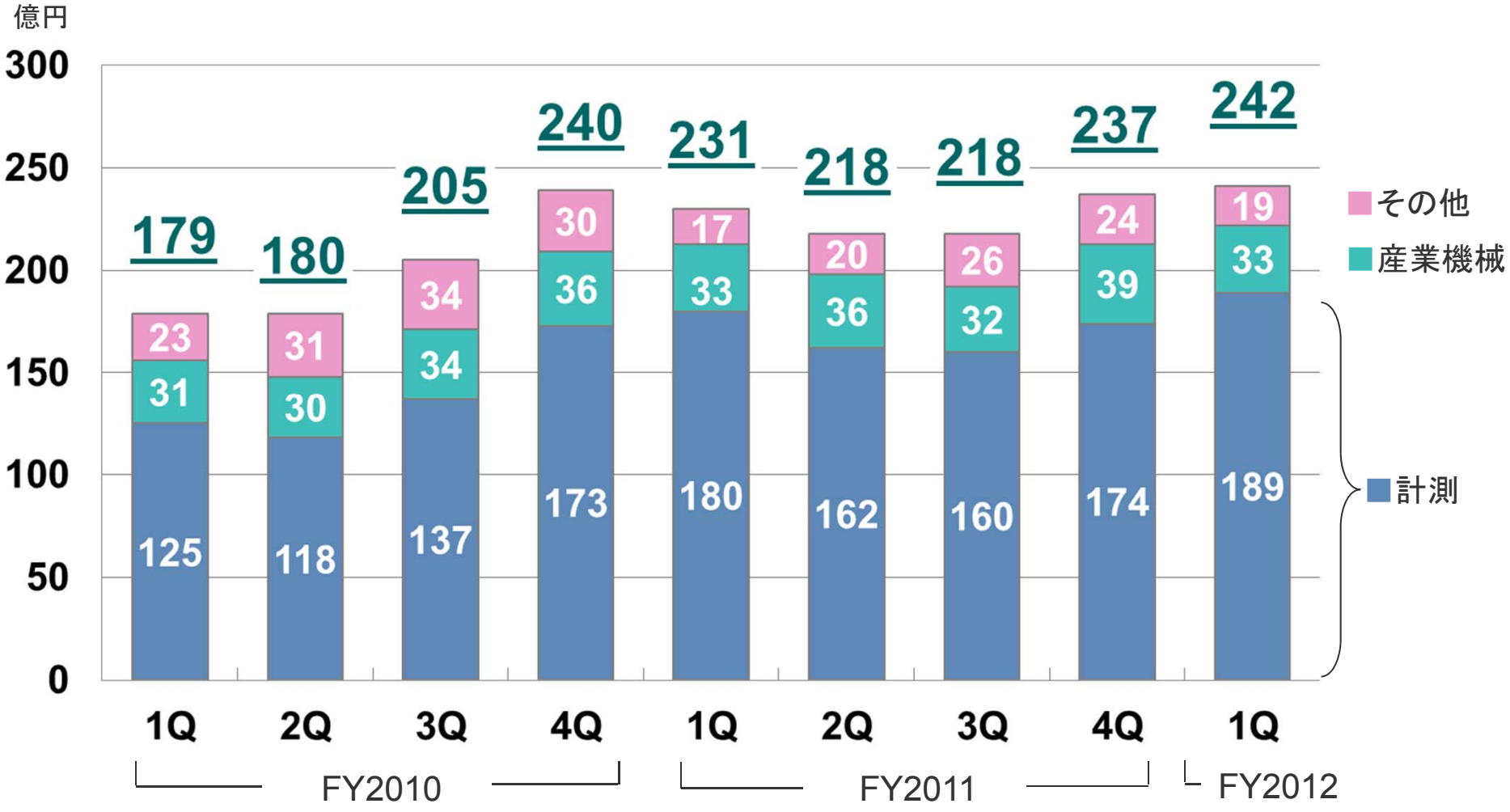


（注）値はそれぞれの欄で四捨五入、FY2011 2Q～4QはIFRS未監査（参考）

Copyright© ANRITSU

1-3. 四半期別受注高推移

FY2012 1Q：計測事業の日本、アジア市場が堅調



(注)値はそれぞれの欄で四捨五入

Copyright© ANRITSU

2-1. 2020 VISION

1 Global Market Leaderになる

- ワールドクラスの強靭な利益体質の実現
- アンリツらしい企業価値の創造

2 事業創発で新事業を生み出す

- 新しい分野でアンリツの先進性を発揮

Copyright© ANRITSU

2-2. 3ヵ年経営計画　GLP2014

国際会計基準 IFRS

GLP2014

指標		FY2011	FY2012	FY2014
売上高		936 億円	945 億円	1,100 億円
営業利益		140 億円	155 億円	190 億円
当期利益		80 億円	100 億円	130 億円
ROE		19.5 %	20 %	20 %
ACE		52 億円	70 億円	90 億円
計測	売上高	706 億円	700 億円	800 億円
	営業利益	138 億円	140 億円	160 億円
産業機械	売上高	142 億円	150 億円	180 億円
	営業利益	6 億円	10 億円	15 億円

（注）ACE（Anritsu Capital-cost Evaluation）：税引後営業利益－資本コスト

Copyright© ANRITSU

3-1. 計測事業の成長戦略

電子計測市場 年平均成長率	成長ドライバ	ターゲット	
		売上高成長率	営業利益率
3-5%	①モバイルブロードバンド サービス市場 ②アジア市場	≧7%	≧20%

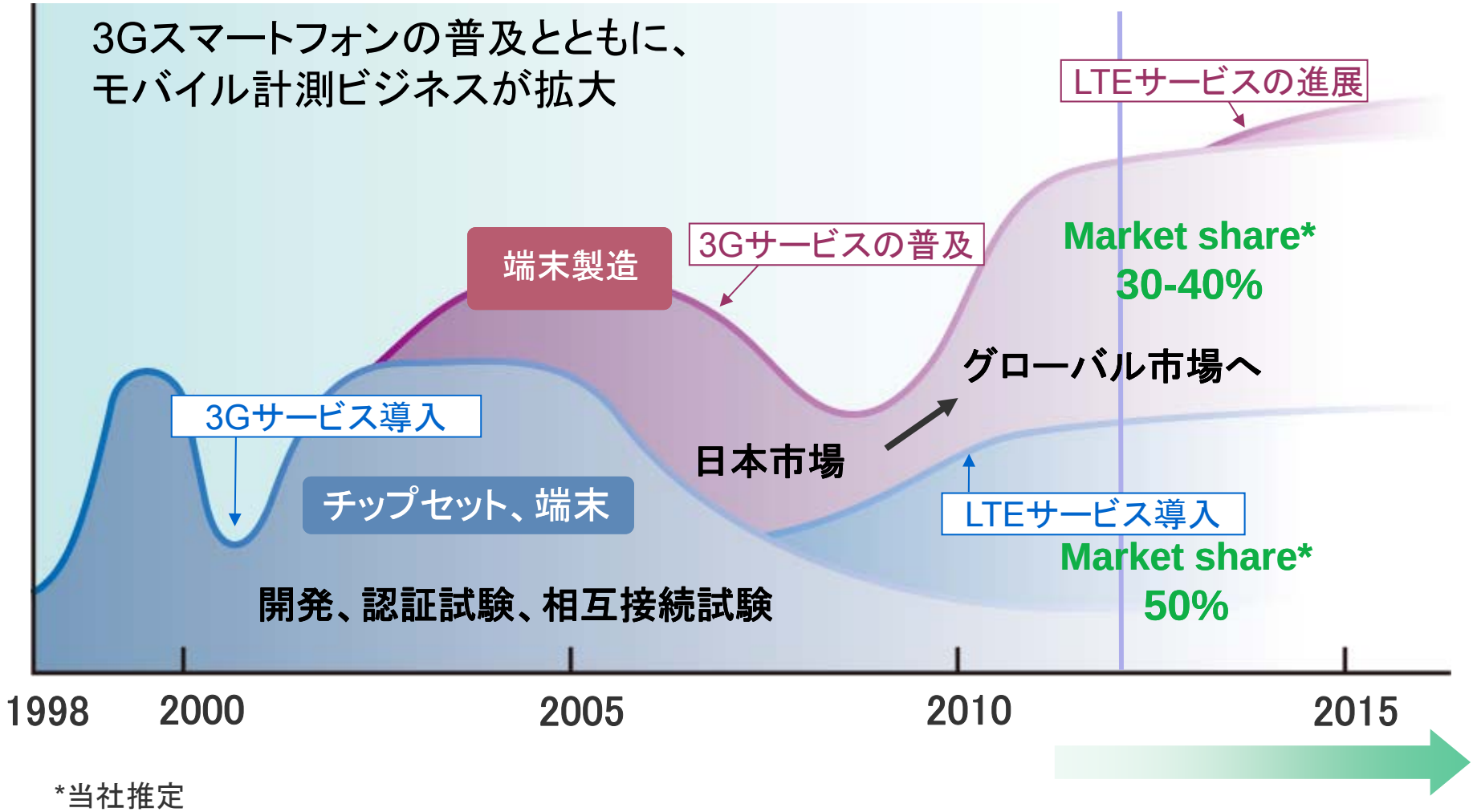
注力する市場	主な取組み
①モバイルブロードバンドサービス市場 →3G/LTE スマートフォンの開発・製造 →高速・大容量ネットワーク・インフラ →Short Range Wireless用デバイス	**(1) LTE開発市場でのポジション堅持** **(2) 端末製造市場での** **インストール・ベース拡大** **- グローバルベンダー** **- 中国ベンダー (Huawei, ZTE, etc.)** **- EMS, ODM** **(3) デバイス市場でのビジネス拡大**
②アジア市場 →3G スマートフォンの製造 →中国3G, TDD-LTE関連市場	

Copyright© ANRITSU

3-2. モバイル計測ビジネスのトレンド

モバイル計測市場（当社推定）:1,000-1,100億円
（製造:700-800億円、R&D:200-300億円）

売上高



*当社推定

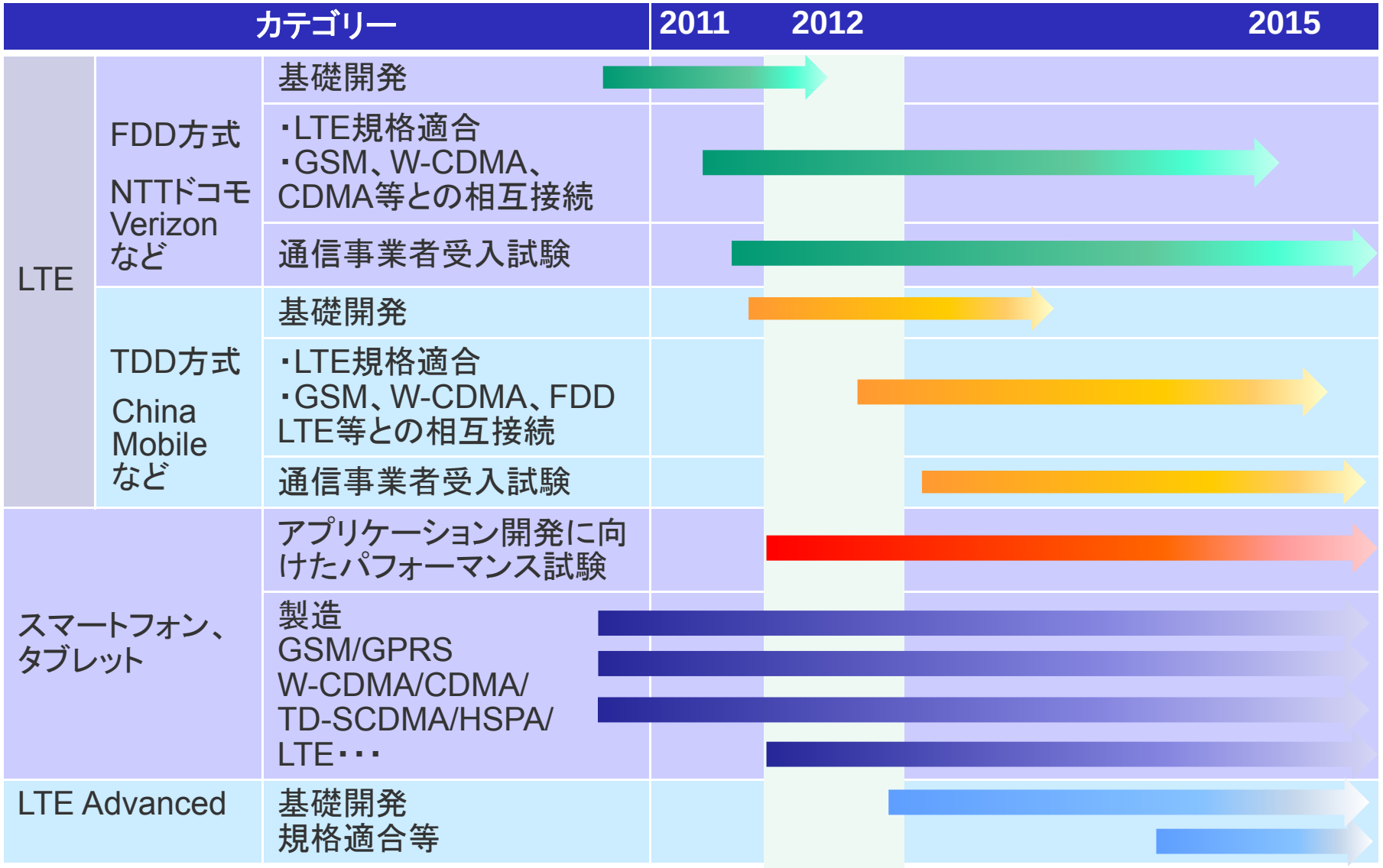
Copyright© ANRITSU

3-3. R&D･製造市場のモバイル計測ビジネスの相違

	R&D市場				端末製造市場	
	チップセット、端末の規格、方式開発			商用開発		
分野	コア開発	規格適合試験･相互接続試験	オペレータ受入試験	アプリ開発向けパフォーマンス試験 -スループット -消費電流、等	専用ワンボックステスタ	汎用計測器（専用ソフトウェア）
主要通信規格	**LTE** （FDD-LTE, TDD-LTE）			**3G/LTE**	**2G/3G/3.5G** （GSM/GPRS, CDMA, W-CDMA, HSPA, TD-SCDMA）	
顧客	チップセット/端末ベンダー	チップセット/端末ベンダー、テストハウス、通信事業者	テストハウス、通信事業者	端末ベンダー、アプリケーション開発事業者	端末ベンダー、EMS(elec. mfg. services)	
地域	米国, 欧州, 日本, 韓国, 中国				アジア	
製品						ー

Copyright© ANRITSU

3-4. モバイル計測ビジネスの現状と今後



Copyright© ANRITSU

4. 国際会計基準と経営力強化

4-1. 国際会計基準IFRSの導入

4-2. 中長期の財務体質改善目標

Copyright© ANRITSU

4-1. 国際会計基準IFRSの導入

透明性を拡大し、新たな財務体質の改善目標にチャレンジ

当四半期より IFRSで報告

- 世界標準での開示
- グローバルな市場・顧客・競争に対応
- リスクを前倒しで認識

純資産額の減少

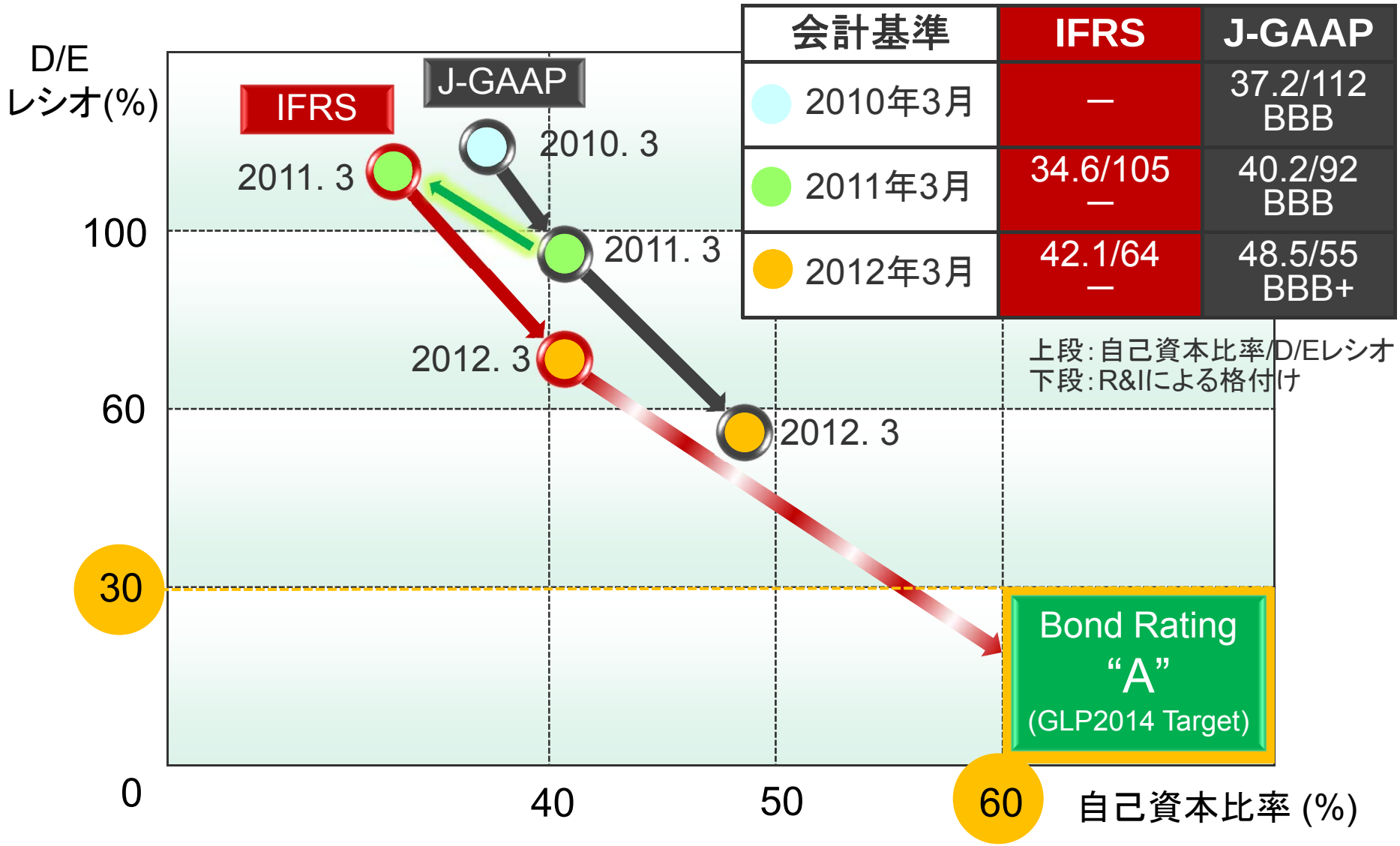
- 純資産：85億円減少
  -退職給付会計：△93億円
  -R&D資産化 等
- 自己資本比率の低下（48.5%→42.1%）
  (2012.3.31現在の影響額）

財務体質強化促進

- ROE20%以上の実現
- 自己資本比率の一層の改善
- 格付A復帰へ

Copyright© ANRITSU

4-2. 中長期の財務体質改善目標



会計基準	IFRS	J-GAAP
2010年3月	—	37.2/112 BBB
2011年3月	34.6/105 —	40.2/92 BBB
2012年3月	42.1/64 —	48.5/55 BBB+

上段：自己資本比率/D/Eレシオ
下段：R&Iによる格付け

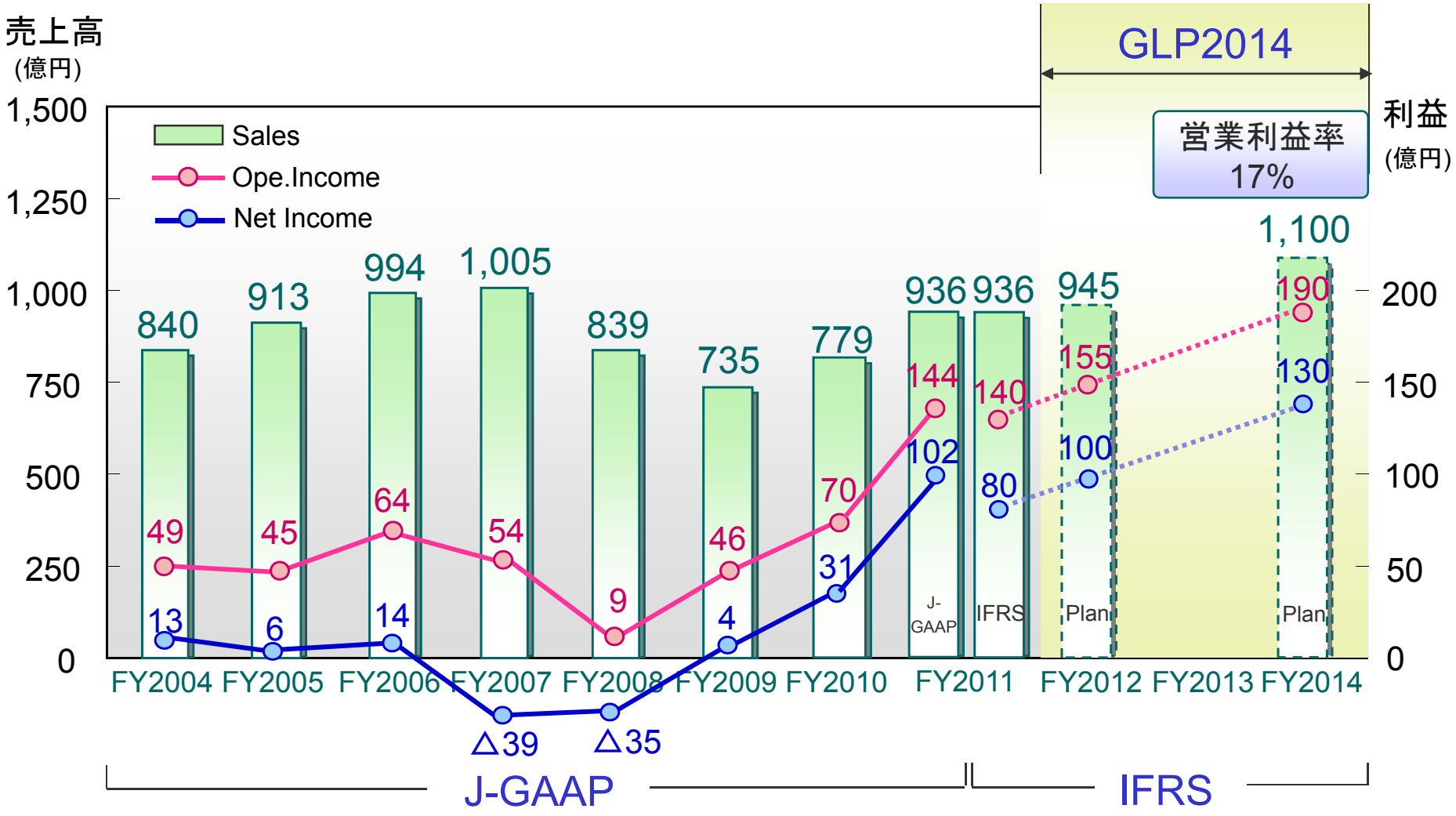
Copyright© ANRITSU

Copyright© ANRITSU

Appendix

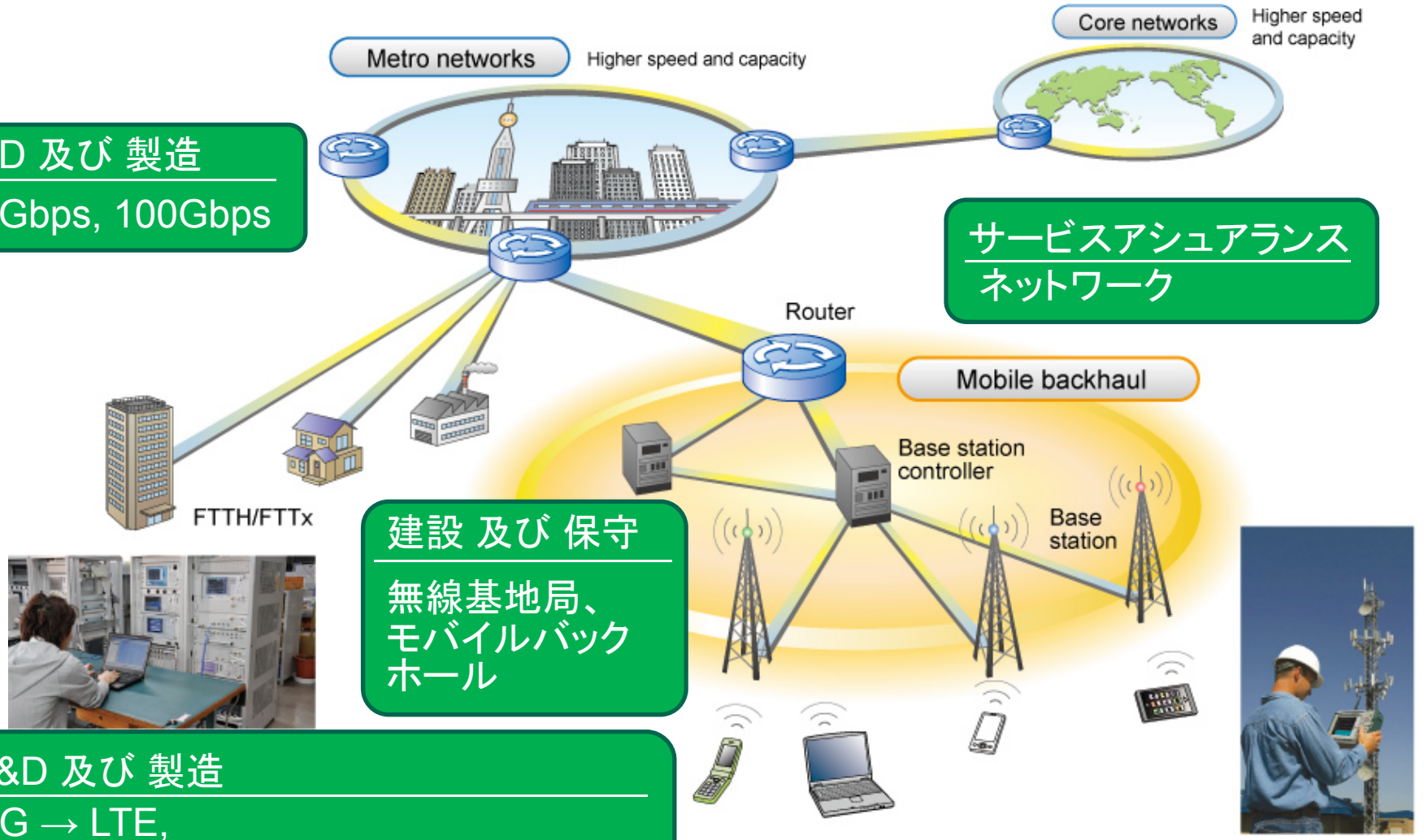
Copyright© ANRITSU

Appendix (1) 連結業績推移とGLP2014



Copyright© ANRITSU

Appendix (2) 通信市場におけるアンリツの貢献



R&D 及び 製造

40Gbps, 100Gbps

サービスアシュアランス ネットワーク

建設 及び 保守

無線基地局、モバイルバックホール

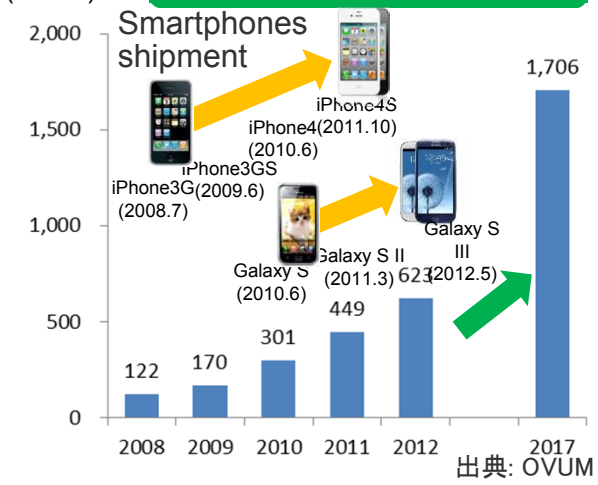
R&D 及び 製造

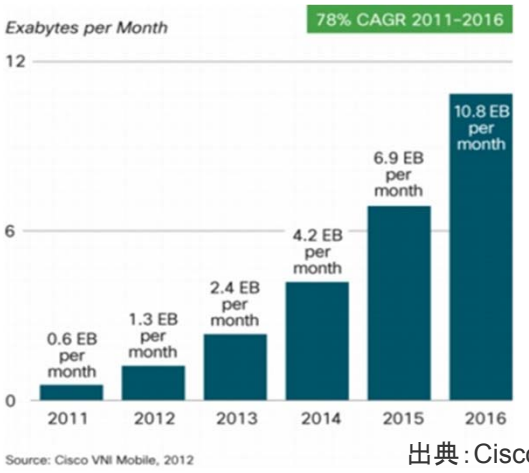
3G → LTE,
Short Range Wireless（SRW）デバイス

Copyright© ANRITSU

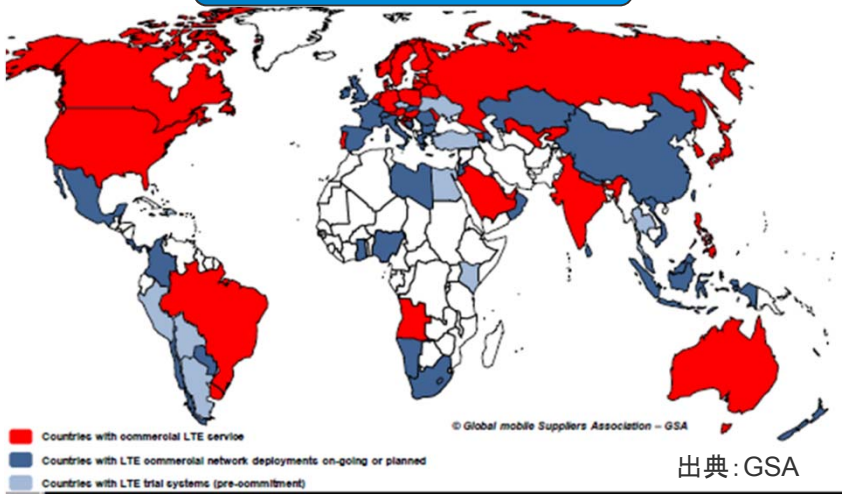
Appendix (3) モバイル市場の動向と5つのキーワード

スマートフォンの普及 ＋ アプリの高度化 ＝ トラフィックの急増

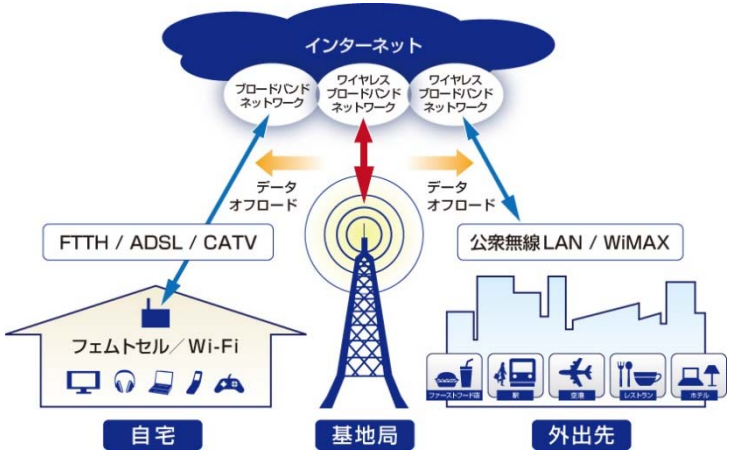




LTEサービスの拡大



WiFiデータオフロード

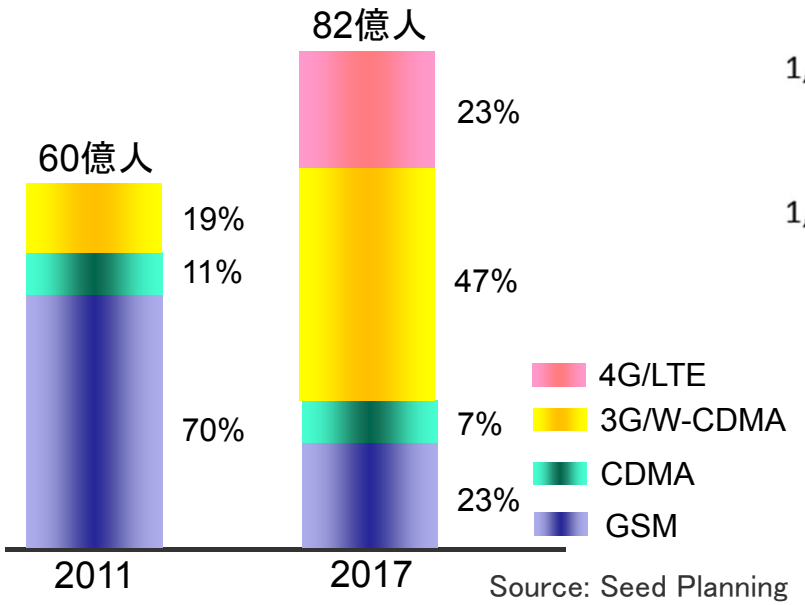


Copyright© ANRITSU

Appendix (4) モバイルブロードバンド市場

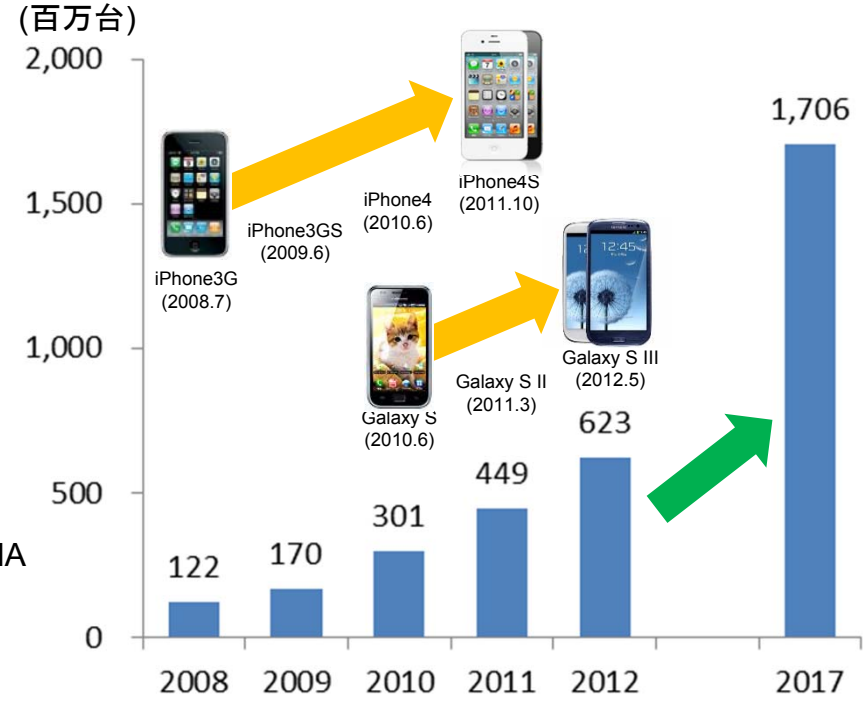
【モバイル通信市場】

携帯電話加入者数
3G, LTEが普及拡大



Source: Seed Planning

スマートフォン出荷台数



Source: OVUM

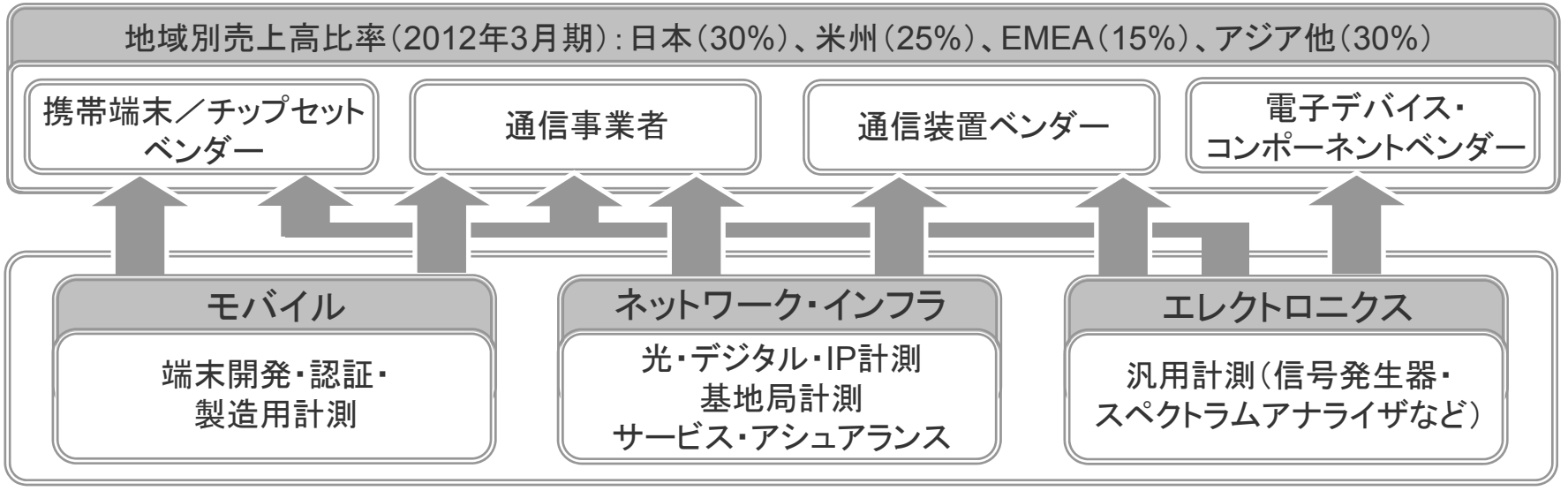
モバイル通信規格の動向 (2011-2020)

R&D: FDD-LTE → TDD-LTE → LTE Advanced (R&D テーマは継続)
製造: 3G スマートフォン → LTE スマートフォン、タブレット端末 (製造市場の拡大)

Copyright© ANRITSU

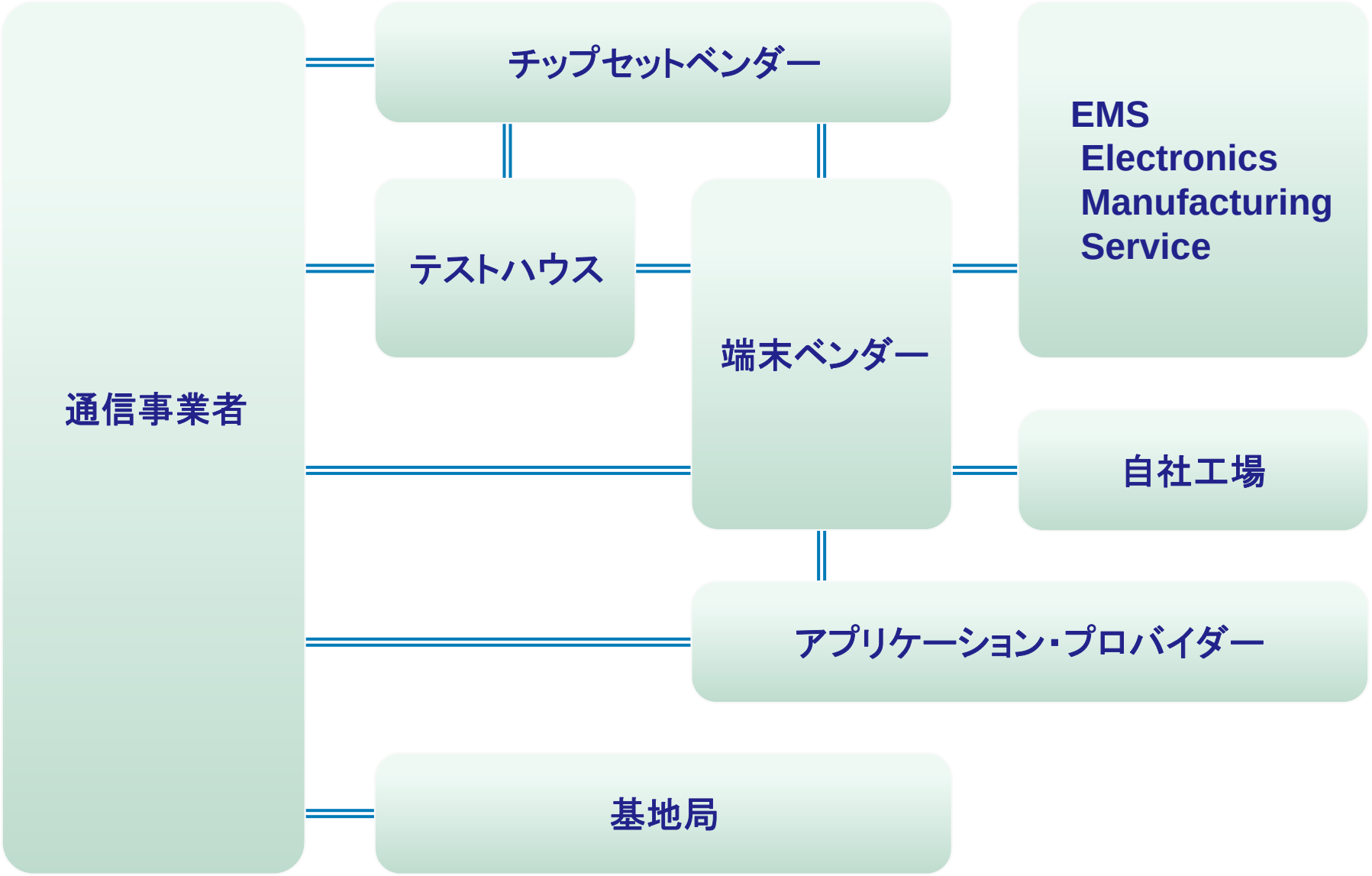
Appendix (5) 計測事業-顧客とマーケットポジション-

	モバイル市場			ネットワーク・インフラ市場		エレクトロニクス市場	
	R&D	製造	保守	R&D	建設・保守	R&D	製造
フォーカスエリア	LTE （端末開発・認証試験）	3G/LTE スマートフォン	携帯端末の修理・保守	40Gbps / 100Gbps 光伝送	無線基地局 光ファイバ敷設 ネットワーク品質保証・管理	通信用電子部品 / モジュール （携帯端末 / タブレット端末 / カーエレクトロニクス / 家電など） 無線基地局	
主な顧客	携帯端末 / チップセットベンダー	携帯端末ベンダー EMS	通信事業者 携帯端末ベンダー	通信事業者 通信装置ベンダー	通信事業者 通信建設業者	電子デバイス / コンポーネントベンダー、通信装置ベンダー、携帯端末ベンダー など	
グローバルポジション（当社推定）	LTE開発用計測市場シェア50%	3G携帯端末製造用計測市場シェア30%	日本市場No.1	光・デジタル計測器No.3	無線基地局用ハンドヘルド計測器シェア70-80%	スペクトラムアナライザ、信号発生器 No.3	



Copyright© ANRITSU

Appendix (6) モバイル通信市場の業界構造



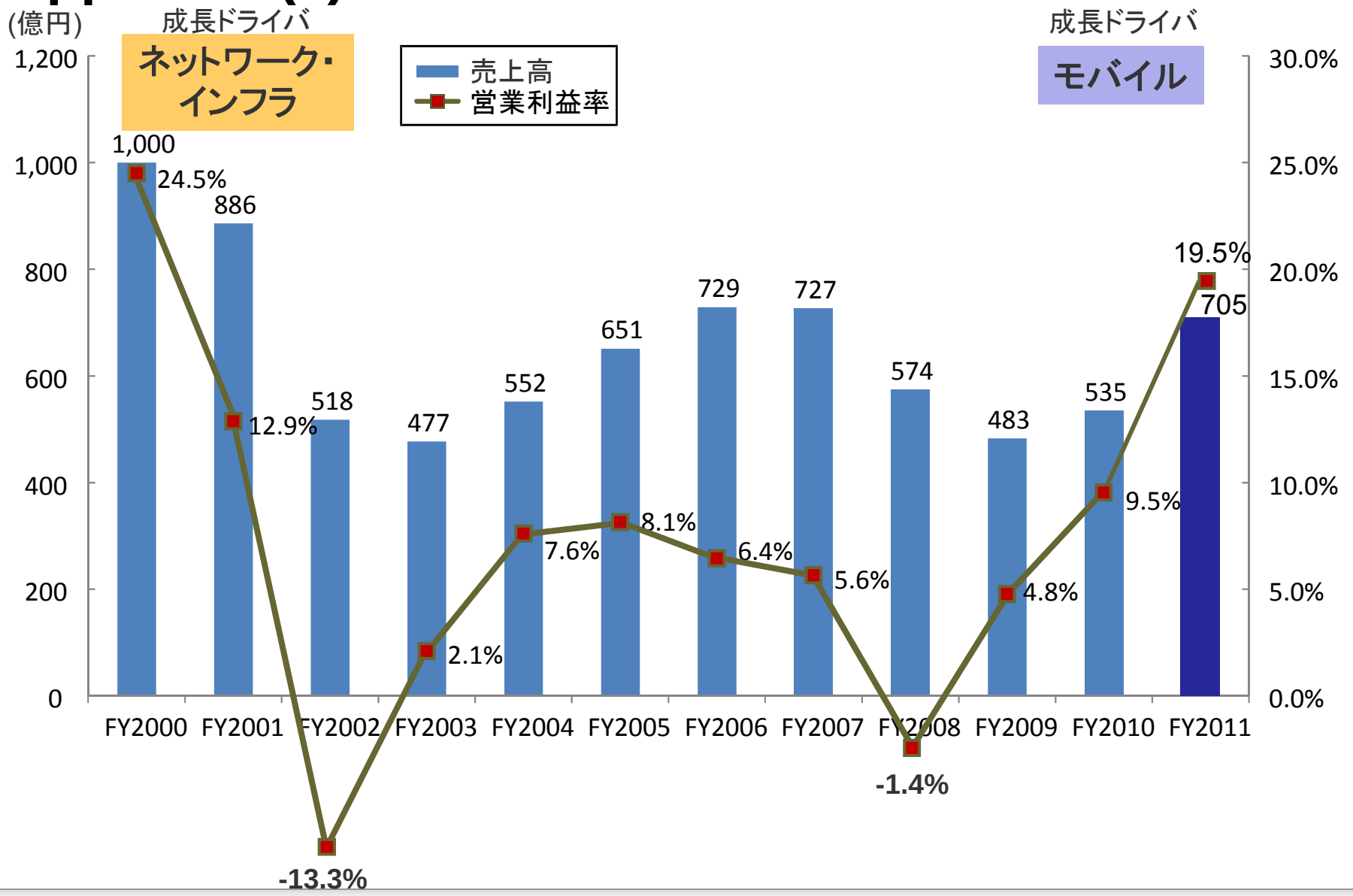
Copyright© ANRITSU

Appendix (7) モバイル通信市場の主なプレイヤー

通信事業者	AT&T, Verizon, T-Mobile, China Mobile, China Unicom, China Telecom, NTT DoCoMo, etc.
チップセット	Qualcomm, ST-Ericsson, Leadcore, Hisilicon, TI, Infineon, MediaTek, etc.
端末	Samsung, Apple, HTC, LG, RIM, Nokia, Sony Huawei, ZTE, k-touch, Longcheer, Fujitsu, NEC, Panasonic, etc.
EMS	Foxconn, Asus, BYD, Fosunny, Quanta, etc.
基地局	Ericsson, Alcatel-Lucent, Huawei, etc.

Copyright© ANRITSU

Appendix (8) 計測事業の業績推移



Copyright© ANRITSU

Appendix (9) 産業機械事業

日本市場
（売上高比率70%）

欧米／中国市場

ASEAN／インド市場

食品加工・薬品・化粧品市場
（食品メーカ、加工工場、製薬メーカ、化粧品メーカなど）

食品加工市場
（地場の工場／メーカ、日系食品メーカ）

日本で生産

ソリューション
（X線異物検出機、金属検出機、重量選別機など）

タイ工場で生産

ソリューション
（多段階選別機、計量機）

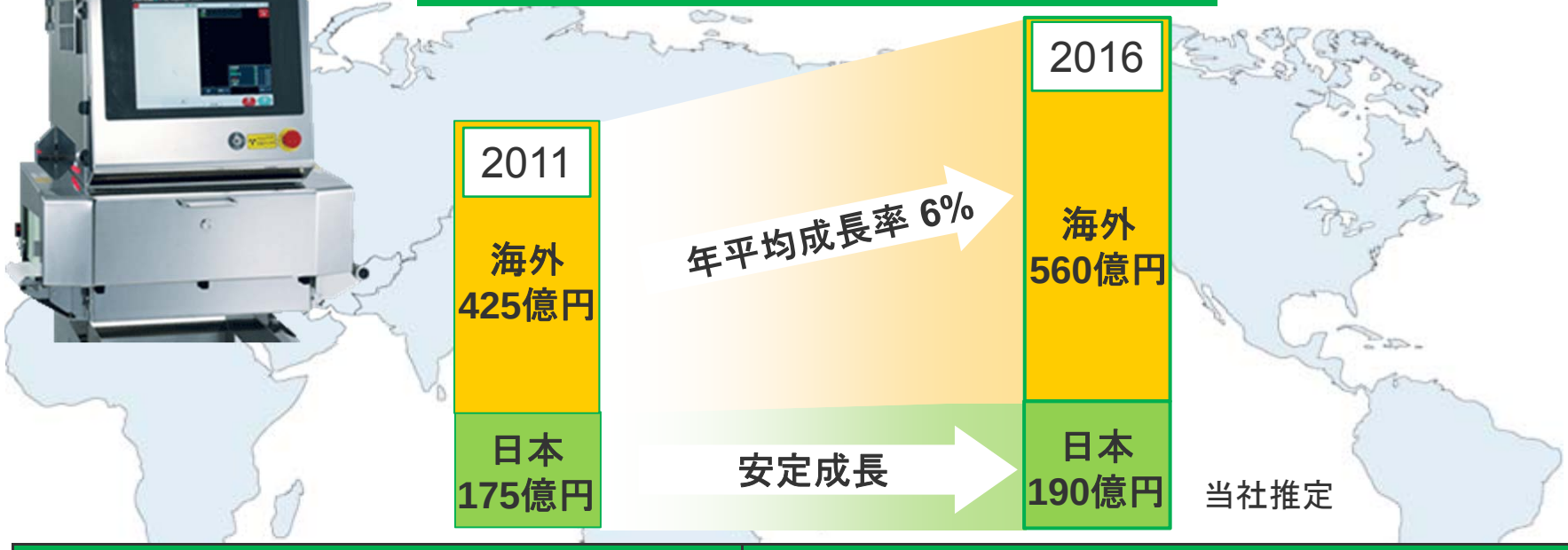
アンリツ産機システム（株）

Copyright© ANRITSU

Appendix (10) 産業機械事業の事業戦略

海外ビジネスの拡大

食品・薬品関連の品質保証市場規模



注力する市場	主な取組み
アジア: 水産加工市場、食肉加工市場 （主に、金属検出/重量選別機）	(1) 食品大手市場でのブランド確立 (2) 新興市場でのローカライズ展開
北米: 食肉加工市場 （主に、X線異物検出機）	

Copyright© ANRITSU